## 関連企画

山形市のお隣、山辺町で開催される**「やまのべ・みんなのセミナー2018 Taiken堂 PART29」**において、岸善幸監督の講演会「テレビ/映画～映像制作の現場から～」がございます。

山辺町が生んだ国際人、安達峰一郎博士の祖父は「対賢斎」と号し、その家は「対賢堂」と称され、向学の雰囲気に満ちた学問の府でありました。Taiken堂はその名にちなんでいます。

【テレビ／映画 ～映像制作の現場から～】 **岸善幸 × 伊藤清隆**（山形放送ディレクター）

テレビ／映画、ドキュメンタリー／フィクション、首都／地方の枠を越えて語られる、映像制作の意義と方法。
地元テレビ局で精力的にドキュメンタリー番組制作を行う伊藤清隆氏を聴き手に迎える。

**日時 11月22日(木) 19:00**

□場　所：山辺町中央公民館（山辺町山辺1）　□料金：当日2000円（申し込み不要）
□問合せ：山辺町教育委員会（☎ 023-667-1115）　**www.taiken-do.net/**

---

山形国際ドキュメンタリー映画祭が行う定期上映会「金曜上映会」にて、岸監督のドキュメンタリー・ドラマを2作品同時上映。

広島の女学校の少女たちの日記帳を元に、入学式から原爆投下までを描く『少女たちの日記帳』。そして、被災地女川で、「ブログ」と「ラジオ」を通じて自分を取り戻していく女子高生と仲間たちの物語『ラジオ』。

**『少女たちの日記帳　ヒロシマ 昭和20年4月6日～8月6日』**

昭和20年8月6日、広島に原子爆弾が投下される。広島県立広島第一高等女学校の1年生223人は建物疎開中に被曝し、亡くなった。残された日記帳には、彼女たちが生きた証、無残にも奪われた青春への淡い期待が綴られていた。戦争が日々の暮らしを侵食するなか、少女たちは何を想い、何を大切にしながら生きたのか。残された日記、遺族の証言をもとに現代に蘇った必見のドキュメンタリードラマ。（2009年／制作・著作：NHK、テレビマンユニオン／109分）

**『ラジオ』**

東日本大震災で甚大な被害を受けた宮城県女川町。地域に必要な情報を住民自らの手で届けようという思いから、臨時災害放送局「女川さいがいエフエム」の活動が始まった。震災後引きこもりがちになっていた女子高生の「某ちゃん」も、周囲の勧めでラジオに出演することに。
しかしマイクの前では思うように自分の気持ちを言葉にできない。やがて彼女はブログを始めるが、とある投稿が世間の注目を集め…。
安藤サクラ、新井浩文ら個性的なキャストを迎え、ラジオ、ブログ、そして仲間たちとの出会いを通じた高校生の心の動きが丁寧に描かれる。（2013年／制作・著作：NHK、テレビマンユニオン／89分）

**日時 11月30日(金)**　『少女たちの日記帳』 **14:00／19:00**（2回上映）　『ラジオ』 **16:20**（1回上映）

□場　所：山形ドキュメンタリーフィルムライブラリー（ビッグウィング3F）
□料　金：無料（当日受付にて「鑑賞会員」にご入会ください。入会金・年会費はかかりません）
□問合せ：山形国際ドキュメンタリー映画祭（☎ 023-666-4480）　**www.yidff.jp**